

令和5年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	区長 長崎 忍
組織の目的・方向性	秋葉区では、区の将来像である「里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち」を実現するため、秋葉区の特徴を生かしたまちづくりを推進します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を理由とした県外との転出入数 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思える保護者の割合 ・観光入込客数 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

秋葉区組織目標

秋葉区では、新潟市総合計画 2030、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち」を実現するため、秋葉区の特徴を生かした「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」、「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」、「歴史と個性を活かすまち」、「可能性を生み出し、育て、活かすまち」を目指します。

この方針のもと、今年度は次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特徴や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。また、移住モデル地区による移住促進へ向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人財を発掘・育成することで、地域や住民とともに魅力あるまちづくりを進めます。
- 2 区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。
- 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力して健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。
- 4 地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。
- 5 新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を市民と協働で行います。また、昭和公園再整備の方向性を地域団体と共に検討を行います。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5件	達成数	5件
取組結果	<p>【重点目標1】 達成状況＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月29日に移住相談窓口を開設し、移住コンシェルジュ2名を配置しました。 ・11月に移住に関する団体・個人とのネットワーク会議を開催 ・12月に移住コンシェルジュPRチラシを作成し、区内全戸配布 <p>【重点目標2】 達成状況＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民目線に立った利便性の高い窓口サービスを提供できるよう課内研修の実施や、窓口改善に取り組んだ結果、窓口アンケートの平均点4.5点の評価となりました。 <p>【重点目標3】 達成状況＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちを目指し、認知症への理解を深めるため、講演会を開催するとともに、区だより、FMにいつ、ポスター等掲示による啓発活動を行いました。 ・障がい者理解講座を開催し、障がいへの理解を深め地域で支える仕組みづくりを考える機会となりました。 ・子育て講座、子育てサポーターの訪問は計画通り進めることができ、妊娠期からの子育て支援を行いました。 ・出張「妊娠・子育てほっとステーション」を新たに始め、子育て情報の発信を強化しました。 ・子どもを含めたフレイル予防事業、小児生活習慣病予防事業については、関係する機関と計画通り進めることができました。特に子どもを対象にしたラジオ体操は、地域と連携して実施しました。 				
	<p>【重点目標4】 達成状況＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●わくわく石油楽習事業 <ul style="list-style-type: none"> ・区内の小学校5校から6年生269人が参加 ・石油の世界館友の会と連携を図ったほか、各小学校で事前学習を行い里山施設への理解及び関心の向上を図りました。 ●里山未来創造事業（マウンテンプレーパーク） <ul style="list-style-type: none"> ・全36回開催 1,265人（平均35.1人）の子どもが利用 ・区だよりの発信に加え、PRチラシを新規作成し、区内全小学校に配布しました。 *前期は夏場の熱中症警戒アラート発表により屋外での活動が避けられたため、また、後期は実施回数の2/3が雨天等となったため利用者が減少しました。 ●アキハ「鉄道物語」 <ul style="list-style-type: none"> ・年間 12,582人（平均 65.19人/日）が利用 ・SL再運行に向け、SLや列車のラッピングポストによる機運の醸成を図りました。 ・JR、商店連、観光協会等との連携により、鉄ぶら抽選会を実施しました。 ・にいつ鉄道商店街と連携し、大宮での鉄道イベントに参加しPRを行いました。 ・イベント限定のショップカードによる認知度の向上及び利用促進を図りました。 ●園芸推進事業（日本ボケ展） <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 5,050人 ・新聞掲載やポスター配布箇所を増やす等の周知を行い、日本ボケ協会との連携により実施しました。 *開催期間中の悪天と寒気により来場者が減少しました。 				

	<p>【重点目標 5】 達成状況＝評価 3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働での環境整備活動について関係団体と協議し、新津川クリーン作戦などの開催を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ◇新津川水仙球根植栽；11月3日 参加者 66名 ◇新津川クリーン作戦；11月5日 参加者 290名 ◇秋葉公園クリーン作戦；11月18日（雨天中止） ・昭和公園再整備の方向性を検討するワークショップの開催に向けて、支援業務委託契約を締結するとともに、住民参加型のワークショップを開催し、地域住民の意見を反映させた公園の再編案を作成しました。 <ul style="list-style-type: none"> 第1回目 WS R5. 10. 29 第2回目 WS R5. 11. 29 第3回目 WS (R6. 2. 28)
今後の方向性	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等により移住者目線で区の魅力や暮らしやすさを発信し、移住したいひとへアプローチをはかる ・移住後の不安や相談できる交流の場をつくり、移住者のフォローをはかる。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度の向上に向け、引き続き、窓口サービスの推進や改善に取り組み、より一層信頼していただける区役所づくりに取り組んでいきます。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「人がつながりともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特性を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策・事業に取り組みます。 ・認知症に関する講演会の開催のほか様々な啓発事業を継続し、認知症への理解が深まる機会の提供に努めます。 ・障がい者理解講座を開催し、障がいへの理解を深め支援者・理解者の輪を広げます。 ・各種子育て支援事業や子どもを含めたフレイル予防事業、小児生活習慣病予防事業を通じて、子育て支援の充実や健康づくりを進めます。 <p>【重点目標 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、実施運営などの改善により実施した事業内容を、アンケートなどによる振り返りを行い次年度事業の企画に反映させることで各利用者の増を図ります。 <p>【重点目標 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働での環境整備活動により多くの方から参加いただき、持続的な活動とするためには、担い手となる子育て世代や学生・若者への周知・啓発が重要であり、関係団体と連携しながら多方面での広報・周知活動を進めます。 ・ワークショップを通じて昭和公園再整備の方向性を議論し、子育て世代を含めた地域の皆さまから親しまれる公園整備を目指します。